

人間ドックを受けやすく

Q 受診者が増えないのは受入病院が少ないからである。近隣病院も対象にできないか。

A 県内では川西市や伊丹市が市外の医療機関も対象にしているが、本町は現状での実施を継続したい。

職員研修後の成果検証は

Q 毎年行われている各種の職員研修に対して、参加者の意識や効果についてどのように検証しているのか。

A 研修参加者には、研修報告書を提出してもらう。長期派遣型の研修後は、講師として職員研修を行う。

消火栓ホースなどの点検は

Q 町内に設置されている消火栓ホース格納箱や消防ホース、筒先などの点検は行っているのか。

A 消火栓ホース格納箱を適切に管理するため定期的に点検を行っている。消防ホースの耐圧試験は行っていない。

災害時の学校園の安全は

Q 災害時、学校園にいる子どもたちの安全確保のために防災用ヘルメットを各教室に備えるなどの検討は。

A ヘルメットを含め、災害時の安全確保について検討していく。

清潔な本の貸し出しは

Q 本を気持ちよく借りてもらうには、清潔にしておく必要があるが、消毒はどのようにしているのか。

A 図書館に返却された本は、職員が目視で汚れや破れを確認している。紫外線で消毒する機械があり、使う方もいる。

外来種の流入対策は

Q 狐狸ヶ池で行っているミシシippアカミミガメの防除調査は、駆除だけではなく流入対策も必要ではないか。

A オニバスの生育も確認され成果が上がっている。今後は、流入対策についても検討していく。



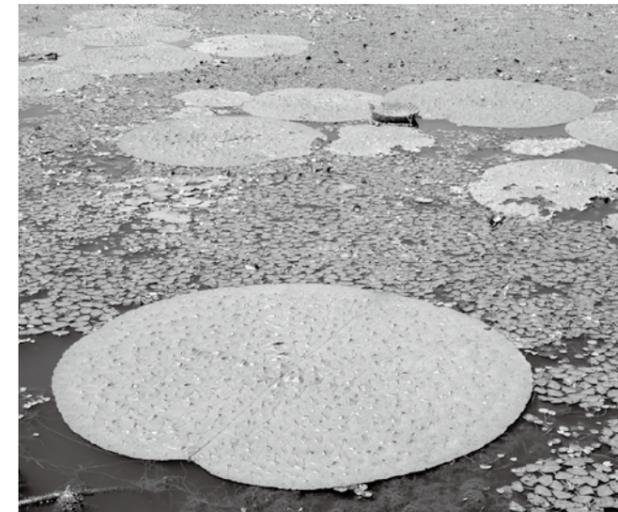
▲町内を走る新幹線



▲消火栓ホース格納箱



▲土山駅前広場



▲狐狸ヶ池のオニバス

新幹線の苦情対応は

Q 新幹線の騒音や振動を測定しているが、測定結果や住民からの苦情をJRに伝えて協議すべきでは。

A 明石市、加古川市、高砂市と共同してJRに対し申し入れをしている。住民からの苦情はJRに伝え、改善要望をしていく。

塵芥処理場の維持管理は

Q 塵芥処理場で生活環境影響調査を実施しているが、その目的と必要性は。

A 塵芥処理施設が24時間稼働となったことにより、県の指導で環境影響調査を実施している。

無許可広告物の対応は

Q 平成27年度は多くの無許可広告物を撤去している。再発の恐れがあり、どのような対応するのか。

A シルバー人材センターに委託し、町内を巡回しながら撤去している。また、県と合同でのパトロールも実施している。

駅前広場の鳥被害対策は

Q 土山駅南ロータリーのケヤキに多数のムクドリが生息し、周辺は大量の羽やふんで汚損している。鳥被害対策は。

A 鳥が嫌がる製品をタクシー待機場側の木につけている。道路清掃車を巡回させたり、芝生の清掃回数を増やす。

プレミアム商品券の成果は

Q プレミアム付商品券の発行事業によって、消費拡大や新たな需要の掘り起こしという成果は挙げられたのか。

A アンケート結果によると、新規顧客の獲得につながったという回答が13件(9.6%)あった。

大池周辺の環境整備は

Q 大池周辺には駐車場、トイレ、転落防止柵、通路が整備されたが、広場は草が茂って近づけない。手入れが必要では。

A 大池広場は地元水利組合が管理しており、後日草刈りをする予定である。